

第2回「空母キティ・ホークの後継艦問題」についてご意見を聞く会議事録

平成 18 年6月8日(木)18:30～20:30

於:ヴェルクよこすか 6階 大ホール

廣川企画調整部長

本日、司会進行を担当させていただく企画調整部長、廣川でございます。よろしくお願い申し上げます。

会に入ります前に若干ご説明させていただきます。この会は空母キティ・ホークの後継艦につきまして市長が皆様のご意見を拝聴させていただく会でございます。多くの方々のご意見をお伺いするため市長からの発言は始めの挨拶のみとさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。なお、報道の皆様方にはカメラについては最初の10分間程度とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。それではただ今から第2回空母キティ・ホークの後継艦問題についてご意見を聞く会を始めさせていただきます。始めに蒲谷横須賀市長からご挨拶を申しあげます。

市長

皆さん今晚は。横須賀市長の蒲谷亮一でございます。本日は空母の問題に関しまして市民の皆さんからご意見を伺う会を開催しましたところ、このように大勢の皆様からのご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。空母の問題につきましてはいままでいろいろな形で皆様からお考え、ご意見を伺う機会がございました。本日はご意見のある方はどなたでも結構です、応募して下さいという形で開催をいたしました。どうぞ皆様からの忌憚のない率直なご意見をうかがわせていただければ大変幸いです。貴重な時間であり、どうぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。簡単でございますけれど冒頭の挨拶とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

司会

ではこれから皆様方にご発言をいただきますけれど、その前に会の運営方法につきましてご説明させていただきます。まず皆様方の発言順でございますが、当選をされた方々の往信はがき、いま封筒の中に入れてございますが、こちらを司会の私が抽選箱の中に入れて無作為に抽選をさせていただき、中から引き当てたはがきの順番でお名前を読み上げさせていただきます。その際挙手をお願いいたします。マイクをお持ちいたしますので発言をお願いいたします。なるべくたくさんの方々にご発言をしていただきたいと考えておりますので、ご発言につきましてはなるべく簡潔にお願い申し上げます。

なお、大声をだされたり秩序を乱されたりするような行為があった場合には場合によっては退席をお願いする場合がございます。ご了承いただきたいと思います。なお、時間の都合でご発言いただけなかった場合には、ご意見を書いていただくペーパーを用意してありますので、そちらにご記入のうえご提出をいただきたいと思います。

では抽選箱の中身を…封印をご確認いただきたいと思います。

(質問があるのですが…)

司会

はい、なんでしょう。

質問

発言方法についてはわかりましたが、いま先ほど市長があいさつされたように、市民 120 名の皆様から忌憚のない意見を聞きたいということで今日開いたというお話がありました。これだけ 120 名近い人が集まっているなかで、到底この 2 時間の中で意見が出し切れないのではという可能性を感じる。そうした場合意見が言えなかった場合には紙に書いて出してくれという話は趣旨が違うのでないか。時間が足りなくなった場合は引き続き、この会をです別途もうけてやるというふうにしていきたいと思うのですが。

司会

当面、今日の会を肅々と開催させていただきたいと思っておりますので、出来る限り簡潔なご発言をしていただきたいと考えております。よろしく願い申し上げます。では封印の確認を前列の方お願いいたします。…それでは中に入れさせていただきます。はい、何でしょう。

質問

どうやってですね、話の方向をまとめていただけるのでしょうか。そのまとめをするのでしょうか。今のお話ですと、意見の出しっぱなしという形になっておりますが、例えば簡単な方法であればですね、反対なのか賛成なのかですね、あることについてきちっと採決していただけないかというふうに私は希望するんですけども…

司会

本日の会はそういう趣旨ではなく皆様のご意見を聞く会です。

質問

ただ、言いつばなしということですか

司会

ただ、言いつばなしということではございませんけれども、ご意見を願ひいたします。

質問

では、まとめなければですね、方向をある程度出さない限りは、話し合いはしたのだけれど、どうなったんですかといったら、いや、話し合いだけはしました。それでいいのですか。

司会

ご意見を伺う会です、時間の都合もございませぬので、早く始めさせていただきたいと思ひます。よろしく願ひします。

質問

いや、きちつとですねまとめる方向も考へていただきたいですが、いかがでしょうか。

司会

進行を早く始めたいと思ひますので、ご意見を伺ひするところに早く入りたいと思ひます。よろしく願ひいたします。はがきを袋から出したたいと思ひます。

(事務局 封印された袋からはがきを抽選箱に入れる。)

司会

それではお名前を読ませたいだきます。読み方が違つていたらお許しください。〇〇さん。

発言者(1)

私はよくわからないので読ませたいだきます。まとまらないので。私は浦賀町に住む主婦です。私は原子力空母の母港化には反対です。米軍は事故も起こしてないし、安全だといつているようですが、私には信じられませぬ。横須賀を原子力空母の母港にするといふことは、東京湾の湾口に動き回る巨大な原子炉が置かれるといふことを意味すると思ひます。それで事故が万が一これば首都圏に住む多くの人々が被害を受けることになると思ひます。

原子力事故は起こってからでは、遅すぎると思うのです。孫子の代まで放射線被害が続くと思うので、私は横須賀で生まれ今日まで住んできたこの町に住むことが出来なくなるなんて、本当に悲しい話だと思います。横須賀市では防災マニュアルが制定されており原子力防災訓練が実施されております。米軍はこれに参加していませんし、必要な情報も提供されていないと聞いております。そういう米軍の安全だという言葉は丸呑みにすることはとんでもないことだと思います。すでに原子力潜水艦が寄港しているのですから、防災計画は必要だと思いますが、本当ならこうした防災マニュアルが無くてすむほうがいいと思います。原子力で動く船などは、横須賀に来てくれないほうが私はいいと思います。もっともっと、市民から意見を聞いていただきたい、それから私達の町はこれから長く住んでいくためには、この町のいく末は政府ではなく私達が政府から言われたということではなく、私達自身が決めて行かれるようになると私は切に希望します。よろしく願いいたします。

司会

ご発言ありがとうございました。それでは次の方。〇〇様。

発言者(2)

発言の機会を与您いただきありがとうございます。さきほど原子力についていいましたが、すでに原子力巡洋艦、潜水艦すでに配備されております。キティ・ホークの後継艦として原子力空母以外にすでに通常型空母はありませんので、所詮は原子力空母が横須賀に配備されるということはほぼ確定だと私個人は考えております。ついては個人的には通常型がほしいですが、もう既に無いのでこの際、原子力空母が来ることに際して安全面を重点的にまあ、市長の方から米軍の方に掛け合ってもらえればよろしいと考えております。これで発言を終わります。

司会

ありがとうございます。〇〇様、おいでになりませんか。それでは後ほどに、次の方 △△様

発言者(3)

私は今まで原子力を使用した軍艦の安全性は資料を見たことがありませんし、説明を聞いたこともありません。先日、新聞の記事で市会議員の方やかなりの方がアメリカまで調査に行っているということを見ました。そういった入手した資料の要約を配布していただきたいと思います。また入手した資料を閲覧できるようにしていただきたい。出来るだけ多くの人に考えられるよう資料を市レベルで入手して多くの人に配布できるよう努力していただきたい。

司会

ありがとうございました。〇〇様。

発言者(4)

3年ほど前にアメリカの原子力空母カール・ヴィンソンが横須賀に追浜沖に停泊しました。私は幸いにこの停泊しているカール・ヴィンソンの見学の機会をいただきました。その時に得ました米海軍の説明では当艦の就役当時、原子炉は8基だという説明でした。間違っていたら教えてください。ところが私が見学した際には原子炉が6基になったと、こういう説明を聞きました。8基から6基に減数されたという意味は、原子力に対する技術革新が進んで就役当時と全く同じ能力を維持していると、こういうふうに聞きました。わが国の原子力行政を考えると、8基から6基まで進んでいるという原子力の技術革新の進み方について私達はどうか考えるのか。そう思います時に進歩する技術革新をどう我々に反映して、それを行政がとらえていただけるか切に希望しております。以上です。

司会

ありがとうございました。〇〇さんおいでになりますか。それではまた後ほど呼びさせていただきます。△△様おいでになりますか。

発言者(5)

今日はあまり自分の意見持ってきたわけでないで、ちょっと興味をもってきました。自分としてはまあ仕方ないのかなという気持ちもっております。あとは皆様のご意見を聞いて勉強したいと思っております。以上です。

司会

ありがとうございました。〇〇様おいでになりませんか。では後ほど。△△様まだお見えでないですか。■■様おいでになりますか。

発言者(6)

私は自宅は津久井浜で勤め先は若松町、まあ米軍の12号バースから約1000m位の距離であります。やはり市街地とかショッピングセンターの近くにですね原子炉を持った船が停泊することに、あるいはそこを母港化することに反対です。発電所で類推してみるとですね日本中探して発電所が市街地、人口密集地にあるところはないのですね。なぜでしょうかという勿論大きな事故、炉心にかかわるチェルノブイリ、スリーマイルのような事故があった時には国会議事堂や首相官邸が使えなくなるのですけれども、日常もつと起こる確

率の高い放射能漏れみたいな事故を考えた場合にですね、原子炉それから日本の国内法規では原子力船についても管理地域、保全地域それから周辺監視地域という区域というのが定められていて、その周辺地域についても人の居住は禁止されているんですね。それだけ安全に対しては国内では法規で非常に配慮されている。ということですが米艦船についてはそういうことは適用されないし、しかも純度の高いウラン燃料を使っているのも普通の商業用の原子炉に比べて放射能に対する安全性というのが実は情報がまったく明らかにされていないという点でもやはり市街地、ショッピングセンターの近くに停泊するという、母港として停泊するというはやっぱり危険が大きいので可能な限り、これはやっぱり市街地から離れた無人島みたいなところに停泊してもらおうという方向にしてもらわなければいけないと安全なためにはそうふうを考えております。

司会

ありがとうございました。恐れ入りますが報道の方そろそろカメラを止めていただきたいと思います。では次の方、〇〇様おいでになりますか。

発言者(7)

私は二葉に住んでいます。一応この会を見たいという、先ほどの方と同じような感じで来ています。アメリカの方で通常型がないということで、原子力ということになっているので、まあ仕方無いのかと思っております。キティ・ホーク自体がもう44年位前の船ということで私の年齢も44なのですけれど、考えたらもう取り替えて当然かなという感じで見ています。わからないのが原子力の空母、原子力を使っているのがイコール広島、長崎の原爆と同じなのかな、というのが私などでは分かりません。そんな事故の確率というのも軍のやっていることですから隠していると思うのですが、その確立よりも私個人的には他の国から侵略というか、するほうがちょっと怖いと思います。その時に自衛隊だけで出来るのかなということを考えたら、逆に近くに米軍がいて助けてくれるか分からないですけれども、そのほうが救いかなという感じで思っております。ですからわたしは賛成かといえば賛成です。以上です。

司会

ありがとうございます。次回からですねこの抽選を引く時間をもったいないので前の方に見ていただいて、あらかじめ次の方のを引かせていただきたいと思います。発言の方、恐縮でございますが市長からちょっと見えなようですので、ご起立いただければと思います。〇〇様おいでになりますか。では後ほど。△△様おいでになりますか。

発言者(8)

自分はまだ横須賀に来て間もないのですが、新聞等でこのような問題が多々、多く取り上げられているので、興味が多少あってこちらにきたのですけれども、こういう勉強会を開いていることの参加も始めてですので、皆様の意見を聞くという形ぐらいしか発言できない状態なので知識もあまりないので、今日のこの講習を参考にしてこれから自分の考えをもって、自分なりの考えをもっていこうと思っています。

司会

ありがとうございます。次の方でございますが、〇〇様

発言者(9)

私は上町に住んでおります〇〇と申します。市長にはですね、去年の選挙公約ということで通常艦の配備ということで大分長い間ご苦勞いただいているわけですがけれども、通常艦といいますと、あとはジョン F ケネディだけということで、完全に廃艦と決まったわけではないのですけれども、いろんな情報で精査しますと、かなり補修に費用がかかるので議会ですそれについては中々結論を出せないでいると、いずれにしても万が一ですね可能であってジョン F ケネディが横須賀にきてもまた数年後には同じような状況で廃艦になればもう通常艦が無くなる訳ですから、そのところを現時点で市長には速やかにご決断をいただきたいと思います。これだけ時間をかけて市長も努力されていますので、私は非常に市長の努力を高く評価しております。三つお願いがあるんですけども二つ目はですね△△氏がですね、わたしの友人でもあります、前の市長の時からですね随分長く市民活動されています。すばらしい情報も市の方に提供されています。市民の声も代弁してですね、現市長とも交渉されていると思うのですが是非今後、敵対関係ということでなく情報を共有して市民の安全について、いかにお互い精査していくかというスタンスでお付き合いしていただきたいと思っております。三番目ですが先般の公聴会で一部経済人からですね、これを機会に条件闘争だという話が新聞各紙にのっておりましたが、これは市民の安全だけに限ってですね条件闘争してください。国からですね、都市の基盤整備のために金を取ろうとかですね、出させようといった話は一切交渉しないでください。以上です。

司会

ありがとうございます。〇〇様おいででしょうか。

発言者(10)

私は横須賀中央の商店街に勤めております。キティ・ホークなど来航する米軍の方々がこの町に対する経済効果というものは確かに存在していると思います。船などが入港しなくなったら閉店などが相次ぐのは間違いないと思います。ですから今回の趣旨とは少し違うの

かしれませんけれど、原子力の安全性有無や入港以前の問題として、基地の存在というのは横須賀にとって必要なものだと思っています。ですから私は賛成か反対かといわれれば賛成というふうにお伝えします。以上です。

司会

ありがとうございます。続きまして〇〇様おいでになりませんか。では後ほどお願いします。△△様

発言者(11)

日本の今置かれている状況とかアメリカとの関係を考えると、アメリカとの関係は強化していく必要があるのではと考えております。その中で横須賀に原子力空母を配備することがその一助となるのであれば、事故との兼ね合いになりますけれど安全を確保した上でこの事業は進めていっていいのではないかと考えております。従いまして賛成か反対かといわれれば賛成です。

司会 ありがとうございます。つづきまして〇〇様いらっしゃいますか。

発言者(12)

現在、米軍の再編強化に伴い、基地を抱える自治体が、まあ自治体ぐるみで戦いが全国的に行われています。この原子力空母の配備は米軍の再編強化の要でありまして、もしここの横須賀ですと、自治体ぐるみの戦いができるのであれば他の自治体へ大きな計り知れないものがあると思います。幸いこの横須賀、去年の11月に議会でも原子力空母の配備に、全会派一致で反対決議されていると、またですね横須賀に隣接する市や町でもこの原子力空母の配備に反対する意見書や決議が出されていると言われています。市長さんもですね、この原子力空母の配備には反対の公約を掲げて選挙戦を戦いました。

そういう意味では是非この公約を貫いてほしいと思います。またこの横須賀への原子力空母の配備ですけれど、神奈川や東京、千葉といった人口密集地に動く原子炉が設置される。それに等しいものだと思います。事故が起きてからでは取り返しのつかない大問題になることが想定されています。政府はですね独自の調査や分析もなくアメリカの言い分を鵜呑みにして安全性をすててますが、原子力艦船の事故は相次いでいます。しかも空母の原子炉は軍事機密のベールに包まれ一切公表されていません。安全性を検証するなんの保証もないと、このなんの保証もない安全性を大規模に宣伝して市民に押し付けるこれ自体、私は許されるべきではないと思います。船が入ることで経済効果があるといっていましたけれど、私は1ドルが360円の頃はアメリカさんも羽振りがよかったです。円が切り上がり変

動相場制が導入されると今日ドルの価値が三分の一に減り、いくら家族や兵隊さんたちがこの日本に上陸してもまともに金は落ちないと私はそう考えています。そういうことで経済効果の面では疑問を感じています。ということで私の意見は終わります。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(13)

私も出席させていただいてどちらかと言われても、どちらとも言えません。反対と思うところもあるし、賛成と思うところもあるからです。では皆さん何が反対で、何が賛成かといったところを、ここで良く聞いて今後の糧にして行きたいと思っています。ですから皆様の意見が今後の私の意見になっていくと考えております。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりませんか。△△様

発言者(14)

この発言させていただく機会を与えていただきありがとうございます。この必要性からいいますと、この日本の置かれている立場、細長い島国であります。非常に近辺のところを冷静に見てみれば、やはり米軍の力はやはり必要であろう。では残り通常型はケネディしかないとなった場合、先ほどもありましたが、それが一生涯続くのか、では横須賀になぜとなった時ですけれども、先ほどから安全性のところがありましたけれども、静岡の原子力発電所これが常に100%で稼働しているみたいですが、これが臨界を越えてメルトダウンを始めたという場合には関東すべてがだめになるという状況です。今この電気、三分の一が原子力にたよっているという状況を考えます。

あと空母自体が、では原子力をすべて使っているかという100%の力を使っているかといえばインターネットいろんな情報ですけれども、持っている力の3割くらいしか使っていないと、ところが商業用発電機というのは10割の力で動いている。どちらが安全なのであろうかというところを考えれば自明ではなかろうかと。そして空母の4層構造、完全密閉型になっているところを考えれば大分、安全というのは科学技術のところから見れば確保されているのではないかと考えております。

日本を守っていくということでは、横須賀というのは非常に大きな地位を占めることができるのではないかと。空母の配備ということに関しては賛成であります。それで原子力空母につ

いては不安に思っているところを解消していけばよろしいのではないかと考えております。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。△△様

発言者(15)

私 70 歳近くになります。なぜ米軍に金を払って米軍の兵隊を日本の国が守らなくてはいけないのか。それが情けない。太平洋戦争は外交問題であった。市長がアメリカまで行って安全性を確認されたと思いますが、これは動く核なのですよね。チェルノブイリこれがまだ被害が出ている。61 年前に原爆を落とされているのです。動く核燃料に対して反対。アメリカは戦争が好きな国だというのは間違いない。私は艦船修理部に入りました。当時の原子力潜水艦は大体3日間の停泊でした。……………

司会

すみませんが少し簡潔にお願いします。

発言者

動く原子力については大反対です。絶対反対です。

司会

〇〇様いらっしゃいませんか。△△様いらっしゃいますか。

発言者(16)

私は小学生の時に横須賀に来て以来住んでいます。引っ越してから数年後に原子力潜水艦が入ってくるようになり、まだ学生時代に空母ミッドウェイの母港になりました。その時には確か当時長野市長さんだった、2、3年の間だけ母港になると記憶しています。だけど3年経っても航空母艦の母港は変わらず、今度は原子力空母が入ってくると、本当にひどい話だと思います。この時にミッドウェイを受け入れたことが今回のことにつながっていると思います。本当にあの時の判断には怒りを覚えています。アメリカの話は先ほどの方にも出しましたが、原子力空母は安全だとか監視しているとかいいますが、港であった油漏れの事故をすぐ通報しないと、艦載機がものを落としたりとか、信用できないし、もし重大な事故が起きたら、モニタリングポストで見ても避難する前に被害を受けることになってしまう。広島、長崎の原爆被害者を見てもわかるように本当に恐ろしい被害がなると思います。だから絶対反対なのですけれど、もし原発を作るといふことになれば、安全審査とかそういうものが必要なはずなのですけれど、そういう手続きも無しに原子力空母を持つ

てくるなんて絶対許せないと思います。最近の報道で海軍の高官の人が、ジョージ・ワシントンではなくて将来的には、もう一隻の空母をメンテナンスだとか修理が出来ればいいなんて見ましたけれど、本当に今受け入れたらこの先どんなエスカレートしてくるか、将来のことを考えると困ります。

お正月にはこの近くでも殺人事件が起きました。私、坂の上、中央地区に住んでいますけれど、怖いことだと思いました。基地があればこういう事件は絶対起こるし、戦争するための訓練されている人が休みで横須賀に来たときだけいい人というか、友好的な市民になると思えないし、これからもこういう殺人事件がおこらないにしても傷害とかいろんなことが考えられると思うのです。

原子力空母は戦闘能力が高い、能力的にいいとか言っていますけれど、戦争をする能力が高いものが来るということは、さっき言った放射能とかそういうことだけでなくこういった危険、リスクも増えることになると思います。

私は 33 年前、ミッドウェイ母港になった時は大人ではなかったのですが、今回大人である人間として将来の人のことも考えて、大人である人間の責任として絶対に原子力空母反対です。市長さんは中央官庁でずーっと働かれて故郷の横須賀にお仕事をされることを望んで帰ってこられたと聞いています。是非安全を第一に考えて、通常型空母を言い続けていただきたい。通常型空母でなければ入れないというのは横須賀の条件です。アメリカ海軍は本当に対応できないのであれば諦めてほしいと思います。国とかは市民を守ってくれないと思いますし、是非横須賀のため将来の横須賀のために、是非市長さん悔いを残さないようにお願いしたいと思います。最後に意見を聞く会にチャンスを与えていただいたのですが、このような会をもっと増やすか、他の手段でもかまいませんから、市民アンケートをとるとかもっと多くの方、広く市民の意見を聞いていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇さんいらっしゃいますか。

発言者(17)

私はですね、危険なものはやはり認めるべきではない、という点で反対ですが特にこの原子炉の場合ですね、原子爆弾と違いまして爆発しますと放射能をもった 235 というのが広範囲にばらまかれる。これをかき集めてどっかに捨てるという訳にもいかないわけです。多

大な被害が起こる、たとえば市の予算を全部充ててもですねこれを回収するということではできません。

いくら予算を投入してもこの広範囲に散ったであろう放射能の汚染による補償をすることは出来ません。こういう危険なものをですね最初から分かっているながら、ここですねオーケーであるということとはとても言い出すことは私は出来ません。横須賀市民はですね、やはり安全で暮らせるようなそういうことを市長さんはそういう立場でおられる訳ですから、是非ですね通常艦、要するに安全なものをここに入れるなら入れると、そうでなければ、そういう船はいらない訳でありますから、もう入れないで欲しい。一旦入れたら後世にいろいろな害を、害といいますかいろんな問題を起こすことになります。この際市長さんの公約でもありませんので是非反対をしていただきたい。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様。

発言者(18)

私は賛成でございます。いま日本にとって米海軍という存在はやはり必要なものと考えております。その中で空母この能力がやはり日本にとって必要なものと考えております。空母は原子力空母しかなくなるとのことですから、それは仕方ないことなのですが、原子力空母の母港を考えると常識的に考えて横須賀が最適な場所だということができるのではないかと。安全性に関してはあまりにも敏感になっているのではないかという気はします。過去の事例で危険だ危険だといっていますが、それは今の技術と違っている。過去の事例でもやはりフュエルセーフが利いて大事に至らない内に止められているという、これは安全性が確保されていることではないかと認識しています。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様いらっしゃいますか。

発言者(19)

久里浜に住んでいます〇〇と申します。私は 40 何年間船舶の仕事をしております。東京湾を行ったり来たりしておりました。特にこの浦賀水道をいうのはご承知だと思うが世界一船舶の輻輳しているところなのです。市長知っています？(図面を示す) この浦賀水道を。知っていますよね。この辺が一番海難事故が多いところなのですよ。こういうところに、もし、原子力空母が座礁したらどうなると思います。皆さん。一時冷却水が止まって原子炉がオーバーヒートして取り返しのつかない事故になります。昭和 43 年 11 月にこのような大事

故を起こして乗組員が 30 何人死亡しました。これ浦賀水道の出口、横須賀沖ですよ。ご存知の方、知っていると思いますが。その後、海上交通安全法というのが整備されたのですが、昭和 63 年に潜水艦なだしおと遊漁船がここで衝突しているわけ、横須賀沖で 30 何人の人が死亡しています。原子力空母がここで座礁して大事故を起こしたら、横須賀ばかりでなく東京湾に住む人が全部全滅に近いとなると思いますよ。そのためにも絶対反対ということで市長さんの公約も絶対忘れないでください。以上です。

司会

ありがとうございました。〇〇様いらっしゃいますか。おいでになりませんか。△△さんとお呼びするのでしょうか。次は■■様。おいでになりませんか。☆☆様。●●様。

発言者(20)

私の望むところは唯ひとつです。乗組員の質を含めて真の安全、家族の安全、市民の安全これが確保できなければだめです。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(21)

発言の機会を与您いただきありがとうございました。日本の安全保障を考える時に、われわれは日本人としてこの問題については避けて通れない。私はどちらかと言えば賛成です。と申しますのは、今は沖縄の問題、岩国の問題等ありますが日本全体の安全保障を考えた時に、警察、軍隊でいう自衛隊、本当にたもてるのか。米軍のいう日米安全保障条約に基づくとところの米軍の協力は日本には、無くてはならないものです。そんな中で横須賀っていうのは、日本のどこの場所よりも軍関係の港としては最適、またそれだけの能力を持っていると思います。安全であることを証明する、あるいはそれを説明する責任は確かに米軍、あるいは公共団体の方にはございます。ただ軍事機密もあるでしょう、公開していただける分について関係各所で努力していただき、それを証明していただき、我々は将来の日本、我々の子供、孫の世代まで日本が無事でいられるようにあったらいいと思います。水と安全はただでないと思います。私のおじいさんの世代もやっぱり苦労していました。我々は自分達の生活も大切ですが、日本民族としてここで判断を間違えてはいけないというふうに思います。私は賛成です。以上です。

司会

ありがとうございました。〇〇様いらっしゃいますか。

発言者(22)

私は不入斗に住んでおります、〇〇と申します。16歳の時から軍属として働き、そのまま通信関係におりましたので米軍の通信隊に24時間勤務をしてまいりました。戦争がいかに悲しいか、私は涙がかれるほど働きました。本当に負けるということはいやなことです。8月15日を迎える度に、なぜ日本人は戦争をしたのか、戦争の終戦でなくて敗戦にしてもらいたかったと思います。二度と戦争はしたくありません。とって敗戦した限りはアメリカ軍の援助無くして生活できるでしょうか。私はそれが疑問です。原子力空母は絶対反対なのですけれど、生活は出来ないと思って諦めています。

ですから市長さんにすべてお任せして、よいように生活できるようにしていただきたいとそれだけをお願いします。

司会

ありがとうございました。〇〇様。

発言者(23)

私は二つの理由から反対です。一つは先ほども出ていましたけれど、チェルノブイリの事故、今年で20年目を迎えるわけですけれど、専門家によりますと事故を起こした発電所の炉と、空母に積んでいる原子炉は同規模の出力のものとされています。チェルノブイリの事故後ですね、あそこで直接亡くなった方も当然おいでになりますけれど、幸いにして生き残った方も20年経ったいま様々ないわゆるガンを次々発生し、今も死亡し、また沢山の方々が闘病生活を余儀なくされているという事実です。そして20年経ったいまも、この事故が起きた発電所から30キロ半径立ち入り禁止ということがひかれています。ですから仮にここ横須賀で万が一あっても私達横須賀に戻ってこれなくなる。そういう問題だと思えます。従って万が一事故があっても困りますが、そういうものについてはお断りということがひとつ、もうひとつはですね、政府はしきりに米軍に日本は守ってもらっているのだから多少のことは我慢しなくてはならない、そういうことを言います。しかし皆さん航空母艦はですね、防衛のための兵器ではありません。作る時から他国を攻撃するために戦闘機や爆弾をたくさん積んで、攻撃しようとする国のそばの海域まで行ってそこから飛行機を繰り返しその国を攻撃するというそうした任務の軍艦です。従ってそんな軍艦が横須賀にいてですね、しかもそれが原因で私達急に脅かされるということになる訳で、そんなこと全くまっぴらだということです。従ってこの二つの理由で市長には原子力空母はだめだという意思を貫いていただきたい。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。

発言者(24)

私、つい最近横須賀にきたものです。こういうことがあるのは、新聞で少しは知っていましたが、大変な問題だと思っております。今何人かのご意見を聞きました。私がいま思う気持ちは、もう少し行政の方から原子力空母が来ることによるメリット、デメリットを公表されてはいかかかと、基地対策課というのがあるようですから、そういうことがもう少し皆さんに伝われば、より良い解決方法が出来るのではないかと思いました。以上です。

司会

ありがとうございました。続きましては〇〇様おいでになりますか。

発言者(25)

横須賀△△会 事務局に勤務しております〇〇と申します。海上自衛隊のOBであります。

原子力空母の話がテーマなのですが空母自体が横須賀にいることについては市民の共感を得られていると思います。今の日本を考えます時に、竹島の問題や最近是对馬まで北方四島そういうことを考えますと政治が若干弱腰だな、これから政治は一生懸命日本の為に頑張ってくれたいと思います。その政治にくっつきまして安全保障がありますが米国の協力無しには現時点では日本の安全保障は成り立たないというふうに考えております。空母問題になる訳ですけれど、原子力空母が配備された場合の安全性を心配するのは当然だと思います。その当然な安全性、万が一の安全性を、事故が起こったらという議論ですが、交通事故が怖いから車が無い方がいいのか、ということに繋がってしまうと思います。車を安全に運行するにはどうしたらいいのか、安全はどうしたら確保できるのか、そちらに論点が行くべきだろうというふうに考えます。以上です。

司会

ありがとうございました。次に〇〇様、△△様、■●様

発言者(26)

合衆国原子力軍艦の安全性に関するファクト・シートを見ますと、合衆国の原子力軍艦、潜水艦、航空母艦は50年以上にわたって一度たりとも事故を起こしたことがないから、安全だと書かれています。合衆国海軍の原子炉の燃料は固体金属です。さらに純情でない

のは核燃料の濃度です。原発のウラン燃料の核分裂性ウランの濃度はせいぜい4%前後であるのですが、原子力空母の核燃料の濃度は95%ないし97%であるのです。これは広島に投下された原子爆弾のウラン濃度に匹敵します。艦船に搭載するためにコンパクトに作る必要があって、このような高純度核燃料を必要とするのだから、そのために小さな原子炉の中に極めて高密度にエネルギーが閉じ込められていることになる。このエネルギーの閉じ込めに失敗した時の破壊力は想像したくもないと、フジタ ユウコウ経済助教授は新聞に書いています。私はこのように恐ろしい核を戦艦の推進用原子炉に使うことには絶対に反対です。以上です。

司会

ありがとうございました。次に〇〇様とお読みするのでしょうか。おいでになりませんか。△△様。

発言者(27)

今まで皆さんの意見を聞いて、私自身としては単純に、こうまあ一市民としては原子力というのは危険な気がするのですが、いままで事故が起きていないから安全かと言われれば、そうでは無いと思いますが、技術というのは日々進歩するものであって、当然米軍にしてみれば乗員が船の中にいるわけですから安全を確保するというのは当たり前だと思います。当然それが確保されているからこそ、運行しているのであって存在していると私は考えています。ただ安全というのは絶対ではありません。私達は人間ですから間違えることもありますし、うっかりすることもあるでしょう。それを全て想定した上で市としてはどうするか、行政的な法的な整備というか、そういうところも考えた上で判断しなくてはいけないと思いますが、いかんせん情報が少ないと思います。私もこの会に出席させていただきましたけれども、こういうことが起こっていること自体、あまり皆さん本当に知っているのかなということは疑問であります。その辺も情報公開なり、なんなりした方がいいのではないかと。その上で判断しても遅くはないかと私は思っています。以上です。

司会

ありがとうございました。次は〇〇様。

発言者(28)

私も一市民といたしまして、この問題は非常に大事な問題、我々市民にとって大変大事な問題という認識とともに、考えますと一地方の問題ではなく、日本全国に日本の平和、安全に影響する大問題であり、さらに考えればアジア、太平洋地区の軍事バランス、平和の維持そこまでも影響する大問題だという認識をもっております。そういう見地から原子力空母

大丈夫かなということ、その安全性につきましていろいろ勉強したりしている訳ですが、たまたま 30 年前に米海軍は将来の整備構想としまして 10 万トンクラスの大型の原子力空母を作るか、それとも価格の安い 5 万トンクラスの在来型推進方式の空母を作るか大議論を行いました。ちょうどカーター大統領がおられた時でありまして日本はミッドウェーが活躍していた時代でございます。その時に、1979 年度の米国の国防予算審議が始まりました。

ご存知のとおりアメリカには上院、下院それから二大政党でございまして共和党、民主党、丁々発止と軍事委員会、予算委員会、歳出委員会、それぞれの委員会がまたサブコミッティ・小委員会を持っていて、例えばシーパワー小委員会とそれぞれの専門家が、専門の議員が丁々発止と、どちらにするかという議論をした訳でございます。

最終的にまとまった案が大型の原子力空母が欲しいということで議会は予算案を承認してカーター大統領に提出しました。ところがカーター大統領は小型空母の方に賛成でございまして、大統領の拒否権を発動しましてその予算案をつき返してしまいました。アメリカの政治史上 4 度目のことだそうでございます。時間的な制約もございまして、結局議会の方はその政府修正案をのんで 1979 年の予算は成立した訳でございますが、実際の 79 年度の年度が始まりますと早速、歳出委員会でその予算の執行を差し止めまして、再び大型原子力空母で行くか、小型の在来型の空母でいくかの議論が再燃しまして、最終的に 1980 年度の予算では再び大型の原子力空母を作るという予算案が議会で通りまして終にカーター大統領もそれを認めたということでございまして、それ以来作られる空母は全て原子力でございます。従いましていまキティ・ホーク頑張ってくれていますが、すでに年齢 45 才のおばあさんになっています。そういう経緯がございまして、たまたま私その現場に勤務しておりまして、つぶさにその様子見ていましたので、その 2 年に渡るディベートの結果をまとめまして私達の同好会の回報に 2 度ほど投稿したことがございます。

従いましてどっか物置の隅っこにあるだろうということで先日探していましたら出てきました。私の興味はその 2 年間に及ぶディベートの中に原子力空母の安全性について絶対出てくるであろうと信念で探してみました、もうすっかり忘れていましたので念のため探してみました。ところがおどろいたことに一行も出てきません。

その両方の性能の比較とか経済性とかコストパフォーマンスというような議論は一杯出てくる訳ですが、原子力空母の安全性、危ないといった話はぜんぜん出てこないことです。逆にその時点からすでに在来型の推進装置と同じように原子力の推進装置も評価されていたと私は考えております。現に、原子力空母には 5,500 人の乗員が乗ってまして、すぐそばで原子力のエンジンが動いている訳でございます。特に 72 隻持っている潜水艦、これは全部原子力推進方式でございます。ご存知のとおり潜水艦というのは大きな茶筒の中に

100人以上の人間が原子力推進装置と一緒に住んでいる訳、ということで安全性については十分にこれらが注意していますし、私は従いましてキティ・ホークの後継艦として、原子力空母しか無いということだけは、それを受け入れるということは大賛成であります。以上であります。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇さんおいでになりますか。どうぞ。

発言者(29)

私は本町に住んでおりまして、ベースに近いところですが、通常型空母はいま作られていないということを聞いております。原子力空母が配備されるということですが、これはやっぱり日本の防衛をアメリカに依存している以上やはりしょうがないのではないかと思います。一番危険なのは乗員なのですね。乗員がそんな半端な運転をする訳がないと私は考えております。乗員それからベースの人ですね、こういう人が相当考えてくれていると思います。私は一応原子力空母については賛成します。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。

発言者(30)

いま、やはり日本が置かれているこの情勢を考えてみれば、賛成せざるを得ないのではないかと思います。本日、今まで皆さんの意見を聞きまして賛成、反対拮抗しております。また、どちらとも今日来て初めて聞いたという方が約半数位、やはりこれは市として行政として、よく皆さんに説明をして、よく理解していただく機会をもっととっていただければ、もっとも理解していただける賛成、反対どちらも理解する方がもっと多くなるのでは、その努力をしていただきたい。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。

発言者(31)

私は日本の安全保障上、安保条約は必要だと考えております。ただ、今回、原子力の問題で安全性が問題になっている訳でございます。従いまして安全性については国民のあるいは、市民の皆さんが納得できるようにその説明をしていただきたい。具体的に。それが欠けているように思うのです。ですから、私はそれだけお願いしたいと思うのです。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様とお読みするのでしょうか。

発言者(32)

ありがとうございます。私は海上自衛隊のOBでございます。35年、艦隊勤務で空母等、日米共同訓練等にも何回か参加し、空母の研修もしております。ただ私は先ほどの女性の方から、戦争をする人ということ米軍と言われましたが、私は平和を守るため35年勤務したつもりでございます。戦争するためではない。平和を守るために軍事力というのは最終的に平和を守る力であるというふうに認識しております。こういう安全、軍事力というものはこういう観点をよく考えていただきたいということが一点。それから先ほどから市民を守るためにこう云々と、いろいろな運動がされておりますが、やはり市民を守るのは日本が安全でなければ市民の安全はないであろうと、やはり日本の国が安全で初めて横須賀も安全というふうな考え方をさせていただきたいと。そういうようなことが第二点。はっきり申し上げて空母というのはなぜ必要かということに関しては私、海上自衛隊ですからはっきり申し上げて、海上自衛隊の兵力というものは片輪です。いわゆる、サッカーでいえばゴールキーパーとミッドフィルダー、ディフェンスがいるだけでいわゆるフォワードはおりません。そのフォワードは空母にたよっていると。従って何にもない平和な状況であれば、いわゆるミッドフィルダーとディフェンスとゴールキーパーで日本の国は守れますが、どっかから攻撃を受けた場合には、やはり空母というものが必要だ。これによってこの攻撃力が一体となって兵力整備ができる。はっきり申し上げて、兵力整備は攻撃力は米軍にたよるとというのが現在の海上自衛隊の兵力整備なのです。従ってこの空母がなければ日本の安全は守れない。日本の安全が守れなければ横須賀は守れないという論法になるはずなのです。従ってそういう軍事力の意義、防衛力整備の問題、こういう点を考えていただきたい。それから最後に空母の原子力という問題については私、空母の研修もしておりますから、彼らと話をした時に、「そんな危険だったら俺たち乗らないよ。」ということをお願いしておりました。まあ、危険なものに乗ってまで云々と、いう俺たちはそういうつもりはないよ、安全だから乗っているのだよということが、私が体験した言葉として理解していただきたい。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(33)

私はですね原子力潜水艦の機関長と話をしたことがあります。原子力潜水艦の機関長を選ぶ時はですね、本人に面接をしまして、いわゆる1年間四六時中、艦内で原子力機関を

ようするに監視させることになるがいか？という質問をするそうです。その人はちょうど 30 歳くらいの方でしたけれども、要するにそういうことに家族も含めて対応できるのかと言われたのだそうです。

彼は残念ながら予備役になりましたけれども、そのように原子力機関について極めて高い規律を持って監視をしていると私は聞いております。アメリカの公表している資料の中にも約 60 隻くらいの原子力艦船の中で、延べ 5,700 何日間と書いてあり、私もびっくりしたのですけれど、そういう期間長いこと不具合が生じていない。まあ確かにステニス等に砂がつまったりしたことがあったそうですけれど、そういう不具合を的確に対処しているということは先ほどの体制から見ても非常に信頼性が高いと私は判断できると思います。

これからもう少し安全保障について述べさせていただきますと、最近中国はですね、石油を備蓄すると。すでにその備蓄基地は一部出来ているようですけれども、中国は 35 日分の石油を備蓄した。そうするとですね日本の約 120 日分の備蓄なのだそうです。もし中国がそういうことを始めた場合には世界の石油価格は大暴騰するのではないかとされております。そういう傾向それと東シナ海でのいろんな中国の動き、この東アジアの軍事バランスこういうことを考えますと、日本の安全保障、それから孫、子供の時代まで日本が平和を維持するためには、過去 60 年間の平和の維持を考えますとアメリカと今の安全保障維持を計っていくべきだと私は信じています。原子力空母の配備については賛成しています。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(34)

このような機会をいただきましてありがとうございます。私も賛成という立場です。私も横須賀で生まれまして、横須賀の土地柄、米海軍の方と親しくさせていただく機会もありまして、勿論ジョージ・ワシントンにも動いている時に乗ることもありましたし、アメリカに住んでおりましたのでカリフォルニア州やバージニア州にも原子力空母が配備されている町にも住む機会が何年もありました。そういった経験も私個人としてもふまえて話させていただきますと、やはり日本の今置かれている状況上、安全保障上、外交上の問題を含めますと避けては通れないのではないかと思います。

事故を起きたことを話すのではなくて、事故が起きないようにまた技術の、ようは行政、国からの情報を基に話し合いを重ねていくのが良いかと思います。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。

発言者(35)

私も賛成なのです。いままでいろんな賛成の方と気持が一致していますので、女ですし、いろんなこと言いたくありませんし、とにかく賛成です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。

発言者(36)

私は世の中のいろいろなものというのは、危険だからだめだとか、安全だからいいとかという問題ではなく、必要性で語られるべきだと考えております。その必要性を満足するために安全を担保するものと考えています。政治ですとか、行政にたずさわっている方々には横須賀市の成り立ち歴史、現状等から見まして日本国の為に横須賀がやらなければだれが、どこがやるのだという気概で判断していただきたいと思います。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様いらっしゃいますか。

発言者(37)

いま横須賀市は安全保障上、容認選択をせまられている訳ですけれども、いま原子力空母が必要なのか必要でないのかの議論になっておりますけれども、皆さんが安全でないからだめだというふうに言われていますけれども、30年位前ですか原潜が入ってくればすぐ放射能が出て危ないということで、大騒ぎになっておりましたけれども、それをモニターをもって監視していますけど一度も放射能漏れ起こしたこともありませんし、安全ということはそれでもう実証されていると思います。

なお、技術革新において格段の改善がなされておるし、安全について言うならば、我々が心配する以上にしっかりしているのではないかと思います。さきに誰か言われましたように我々以前に日本のために考えなくてはいけないのではと思います。まず乗組員自体が安全でなくてはならないと米軍としても考えていると思います。安全の方から考えるのならば、当然私は賛成と考えております。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。おいでになりませんか。△△様とお読みするのでしょうか。■■様。

発言者(38)

私も賛成か反対かといったら賛成です。でも不安というものが払拭されないので、反対な人でも不安が払拭されるような観測する方法も今より充実してもらったらいいかと思います。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様。おいでになりませんか。△△様。

発言者(39)

私は反対でございます。以下5点ほど横須賀市に要望いたしまして4分ほど時間をいただきたいと思っております。

まず1点目、米海軍横須賀基地の早期返還、母港返上を強く米国政府に求めること。

2点目、さきほどもどなたから出ておりましたが今回の問題につきまして住民アンケート、ないし住民投票を実施していただくこと。3点目といたしまして今日も傍聴の方多くおられますけれど、傍聴すら出来ない方もおられますので、これらの方の発言を保証する場としてこの会合を何回か複数設けていただきたい。それから蒲谷市長、市長の職務として安全云々とありますが、市民の健康を維持するというのが市長の役目でございますね。そういう意味ではこの放射能漏れがあった時に、人間に地球環境にどういう影響があるのか、これは原子力の利用価値とかそういう意味ではなくて放射能漏れがあった時にどうなるのかという学習の場を、ちょうど今日も御出席されておりますが副市長さんの保健衛生部のエキスパートもおられますのでそういった部署等、また教育委員会の生涯学習の場等も利用していただいて多くの市民の方に功罪といいますか、功は無いと思っておりますが放射能漏れがあった時にどういう影響が出るのかという学習の場を多く設けていただきたい。

今年度でもって事業が進展しておりますので、まあ来年度事業でもよろしいかと思っております。是非お願いをしたいと思っております。それから最後になります。今地方分権が言われております。市長もこの問題を最終的に結論を出す時に国の問題だからというように丸投げをしないで、丸投げは小泉さんだけで結構です。地元の首長として横須賀には根強い反対の意見があるということ踏まえていただいて、国に対して毅然たる態度をしていただきたい。で

ございます。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様 △△様 ■■様おいでになりませんか。☆☆様

発言者(40)

私は海上自衛隊のOBです。住まいは木古庭に住んでいますけれど私の家の隣は横須賀市の池上6丁目、ということでほとんど横須賀です。私も今まで皆さんの考えを聞かせていただき、世界情勢ですとか日本のおかれた極東での情勢を考えるとやっぱり原子力空母の配備これは賛成であります。

なお、反対している人達の意見はだいたい安全性とか事故が起きた場合の憂いをうたっておりますけれども、私もそれについては賛成です。その安全性の追求これはこれからもどんどん科学レベルがあがるし監視の目は必要ですけれどもそれよりも空母の配備は必要だと考えています。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(41)

私も横須賀に空母そのものもいらないと思います。空母そのもの、日本が先ほどから日本が攻められたらどうのこうのと言っておられますが、日本にも一応自衛隊というものがありますし、それだったら何も横須賀に原子力空母持ってこなくてグアムにおいといてくれば、その間ぐらい日本の中でなんとかなると思うのです。なにも横須賀に持ってくる必要はない。私は横須賀が好きなのです。この横須賀故郷が。横須賀の町を汚して欲しくない。それだけ、だから市長にも、ここに第1回目、第2回目公聴会をやられていますけれど、一応120名という格好で来ているのですけれど、中にかなり来てもらえない人もいますから民意を反映するために是非とも投票なりなんかの方法をとって全体に聞いてもらいたい。

さらにこういう何回も聞く会を次から次へとやってもらいたい。安易に決めないで欲しいと思います。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様 おいでになりますか。おいでになりませんか。

△△様おいでになりますか。

発言者(42)

まず私は受け入れに賛成いたします。理由としては何点かございますけれど、まず先ほど空母そもそも不要なのではないかとおっしゃいましたけれども、空母が持っている力というのは過去に台湾危機がございましたけれどもアメリカの空母が出てくることによって、台湾に対する中国の侵攻を防ぐことが出来たというふうに認識しております。

まずですねその国を一国で守るということは出来ないと考えております。近代以降すくなくとも一国のみで国を守った戦争に勝った例というのはほとんど無いと認識しています。空母というのが他国を攻撃するための武器であるときほど説明がありましたけれども、他国の軍事力を攻撃するためのものであって、一般市民を攻撃するために作られたものではないということになります。

また、国の安全保障そのものをというのもあるのですが、これとは別に仮に横須賀市がこれを受け入れしなかったとしても、確実に日本国内の別の場所に行くわけであってこれは普天間飛行場の例からしてもほとんど間違えないと考えますけれども、環境問題ですとか、別の所に住んでいる方々が犠牲になるというか負担を負うことになるのは確実にあると思います。それに要する税金を誰が払うのかとアメリカが出してくれるのかといえそうです。そうではないと思います。私は重要なのはこの事故のほうであってこの事故がささいな事故であっても隠すことなく米軍の方からこちらに情報していただくようなシステムを作っていたことの方が重要なのではないかと思います。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(43)

私は馬堀に住んでいまして仕事は夏島町、四六時中ベースを目の前にして艦船の出入りなんかも目にしながら仕事をしている。そういう日常生活の中で一番不安になるのは事故が起きたときにどうなるのだろうという不安がまず一番先にある訳です。安全性、アメリカは軍事機密をということで、なかなか事故の詳細とかどの程度まで明らかにしているのか非常に疑問で信用できないですね。

もうひとつ私の知る限りでは特にヨーロッパでは、原子力に頼らない電力をまかなう方向性というものを研究されているようですけれども、よく話を聞くと原子力に対する安全性とい

うものは確立されてないこれからの人類、地球環境という観点からやはりこれからは原子力に頼らないものでやっていこうとする目が出てきているのではないかと思うのです。

これからの長い将来を見据えて是非横須賀に原子力空母を配備ということを今政争の武器というのではなく人間の安全、将来に渡るそういう見方をもって考えていただきたい。テレビでよく蒲谷市長さんを拝見するようになって、それだけ市民の関心も出てきているのではと思うので、是非これからも市民の意見を聞けるような機会を作っていただきたいというふうに思います。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(44)

参加の皆さんの貴重なご意見を聞きいろんなことを勉強したと思います。個人としましては言葉としては足りないところもあると思います。少し意見を述べさせていただきます。安浦町で生活しております。米海軍の空母が横須賀に配備されるということにつきましては、平和を維持するということでは実績上これは必要だと思っております。ただし、後継艦が原子力であるということであれば私としては一番としては安全性これだけは市としてはまあ明らかにして欲しいと思っております。事故の可能性は無いとたまたま思われますけれど、国内におきましてはまったく違うのですけれども、東海村それから福井県の原子力発電所、不幸にして若干事故が起きております。横須賀市としましてはその対策これを十分に検討していただければ、私は原子力空母これが平和を維持するということでは賛成でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(45)

このような発言をさせていただける機会をいただきまして、本当に感謝しております。また、市長がご就任以来この原子力空母の母港化配備ということに対しまして、非常にご尽力をされ市民の声を聞いたり米国の方に行かれたり、外務省に行かれたりということをメディアを通じていろいろ聞き及んでおりますけれど、本当にご苦労されているのだなと感謝で一杯です。ご苦労様です。

さてそこで折角の機会ですので数分お話をさせていただきたいのですが、この横須賀市をとって見ました時にいろいろ今反対の方から意見が出ました。横須賀でないところでこういうような話が出ましたけれども横須賀はそのような地方都市ではないのです。まさに国際都市なのです。よくふだん言葉に我々いろいろな皆さんが国際化、国際化という、それにもかかわらずこういうところになると反対、そうではないのです。横須賀市はまさに中核都市、国際都市なのです。そういう面からすると横須賀市民としてもっともっと個人が誇りを持って考えて行かなければいけない問題だと思います。自分達だけがいい、私だけがよければいい、というような考えではいけないというふうに私は思います。

さていまいろいろ聞きますといろんな問題で反対といっておられます。まず根本的に日本の安全保障これについてもやや異議を申し立てられた方もおられます。この日本の防衛、米軍はいらない意見もありました。しかし、日本の防衛というのはわれわれの国の領土、国民の生命、財産を守るためには絶対必要である。これをほっといて、ほっとくことは得策として怠慢に過ぎません。日本の安全保障について先ほどからいろいろ出ましたけれども、一国で守ることは難しい。日米同盟、同盟はどこでもいいのですけれどやはり日米同盟、選択肢として取られた訳です。過去の歴史を見ますと日英同盟、明治時代の日英同盟、それから戦後の日米同盟この期間がなごうございませぬけれど、この期間だけが日本の平和だった。本当に国民が平和を謳歌した。この期間歴史を紐解きますとこの期間だけしかない。いうふうに思う訳であります。日米同盟となれば当然日本の米海軍の母港化必要かとなろうと思います。いや空母はいらないグアムにおけばいいのではないか、ということで同盟が成り立つか。この空母がここに配備をされるということは日本の安全に対する米国の最大なるコミットメントです。高価な空母を他国に配備をする。日本の安全に対するコミットメントだと私は認識しています。それがグアムに行ってしまうれば家族もグアムにいます。さあ日本がなにかあった時に米空母が来てくれるか、とんでもありません。米空母アメリカはコミットメントはしないでしょう。さらなる今度は空母の配備について縷々不安がありました。空母は攻撃力ではないか、他国を攻撃するのではないか、これは空母の戦闘力は非常に高いです。高いからこそ他国が来ないのです。抑止力なのです。一旦戦争を交えれば二次大戦、大東亜戦争で我々いろいろ経験しました。戦争したらおしまいなのです。その前に抑止をする、抑止というのは戦闘力がなければ抑止できないのです。そういうことでいまの自衛隊だけで抑止が出来るかということについてはやはり不安が一般の方からあるのだろうというふうに思います。

次に原子力空母の配備があります。これはいま物理的に通常型空母がない、原子力空母しかない、ということが物理的にある訳です。さてその原子力空母の話になりますと、安全がどうかいろいろな問題がいま縷々提議をされてきました。商業炉、いわゆる原子力発電と

の関係もいろいろご紹介がありました。私が聞き及ぶところでは商業炉というのは常に100%稼働、100%の高出力をもって稼働しているわけです。ところが軍艦の原子炉というのは1%ではありません。通常は約15%しか稼働していないのです。最大の力を発揮する時に100%ですけれども、何も港内で100%発揮する必要は無いわけです。それも1年間で1回あるかないかの状況です。また横須賀港内に入った場合にはこういう艦船というのは原子力を停止するわけです。陸上の電源を使って生活をする訳です。

そういうことからすると横須賀港内に入っている場合には危険だといいますが、決してそんなことは言えない。またもう時間が大分短くなりましたけれども、ちょっと端折ります。先ほどから乗員の問題も出ました、乗員は原子炉の近くで休んでおります。四六時中いる訳です。本当に危険でしたらアメリカの青年たちは絶対原子力艦船に乗らないでしょう。日本よりもっともっと自由に謳歌している国ですからそういうことからすれば、いままで50年間無事故であったということは大きな信頼性に富んでいる推進機関ではなかろうか。いうふうに私は思う訳です。というようなことからしまして次期原子力空母の横須賀母港化致し方ない、横須賀以外にどこにも港はないと断言出来るのではないか。失礼しました。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。

発言者(46)

いまこう話を聞いておりました、自衛隊の方たちが組織的にやはり組織があるのだな、すごいなと理解をいたしました。私は原子力空母の母港化には反対です。まず最初に、市長さんは市長選挙の際に立候補する時に原子力空母の母港化には反対ですと、そういう立場で見事に市民の多数の応援と協賛、共同、賛同を得て当選した訳です。したがってこの立場をこれからも堅持していただきたいと期待しております。しかし残念ながら国などの圧力により万が一公約を破棄するようなことが起きた場合、市民の意思を再確認するという意味で母港化についての賛否の住民投票を行っていただきたい。なぜならば公約に反するような場合、これは住民投票で再度市民の意見を聞く必要があるからです。そういう意味で市長さんにはこのようなことが起こらないように反対の立場を貫いていただきたいと思っております。

原子力事故のことにつきましては再三、皆様から反対の意見が出ております。私もそうだと思います。東京湾は非常に過密な航路です。そこを空母が横断しなければ入って来られない。危険極まりない状況を考えると原子力事故が起きた場合、原子力事故というのは決して今の科学技術では解決できないのです。これは皆さん解決できるようなことを言ってお

りますが、今の科学技術では解決出来ないからヨーロッパでは原子力発電所を止めようとしているのです。そこを理解して欲しい。そういう意味で横須賀市だけの防災対策を立てても全く私は意味を成さないとは言いませんが小規模な事故には耐えられるけれど万が一チェルノブイリのような事故が起きたら全く対応できません。そういう意味で私は反対いたします。日本は憲法9条で戦争を放棄しています。皆さんご存知ないかもしれませんが世界各国の国は日本が戦争を放棄しているということをよく理解しております。そういうことを頭に入れて、是非原子力空母母港化に反対。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。

発言者(47)

日本の現在の立場、現状を考えると日米安保それから米海軍これは必要と考えます。今回の問題となっているキティ・ホークの後継艦に原子力空母これはどうかということですが私は賛成です。皆さんが一番心配しているのは原子力というものに対する不安とか故障とかそういうものだと思います。私の知っている限り私の情報源はほとんど新聞なのですが、これを見ると米海軍、これまで50年原子力空母等を使っていますが事故とかいうのは聞いたことありません。そして原子力発電所いま各国にあるその事故というのが私が生まれ育って、チェルノブイリ事故それからスリーマイル島事故いろんな事故があります。そういうのが10年に1回とか何年に1回とか聞いていますが、しかし原子力空母の事故というのは聞いていません。その裏づけとなるのが私の考えですけれども乗員、空母には5千人以上の乗員が乗っています。原子炉の近くで生活している訳で事故等があれば、先ほどどなたかがいいましたように当然、乗員は黙っていないと思います。乗員、軍隊だからこう押さえ込んでいるだろうと思うかもしれませんが私は違うと思います。当然家族等があれば不安で乗ってたくないと思います。また家族の方にも知れわたりそれは当然一般市民にも分かると思います。そういう訳で事故100%、何事においても100%事故が起きないという保障は無いのですがやはり日本の安全、国益を考えると原子力空母を横須賀に配備することは賛成というふうに考えております。よろしいのではないかと私は思います。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様おいでになりますか。

発言者(48)

私も原子力空母入ってくることは賛成です。先ほどいろいろ意見がありましたとおり、米国との安全保障や国益を考えた時、どうしても米軍基地や空母は避けられないと思います。

通常型空母が現在残り少なくなったということから考えまして、原子力空母がこの先、例え市として反対を続けたとしても入ってくるのではないかと、ということになるのではないかと思います。

ここで東アジアの情勢とか国家間の圧力とかいろいろ考えたうえで市としては反対を続けていくのか、入ってきた場合いまの横須賀市の核に対する安全が不十分だと先ほどありましたけれど、このような状況の中で入ってくるような形になるのではないかと危惧しています。より市民の安全を脅かすような形になるのではないかと思います。いまから原子力空母が入ってくるということを前提に考えて原子力に対する安全体制を市と米軍との間で確立していく手段というのを模索していく方が安全保障という国益とか市民の安全という市益というのかこれを共に満たした建設的な姿勢ではないかと私は思います。以上です。

司会

ありがとうございました。続きまして〇〇様

発言者(49)

原子力空母が横須賀に配備されることに賛成の立場として4点意見を述べさせていただきます。まず1点目ですが環境保全であります。原子力エネルギーはクリーンエネルギーとも言われ二酸化炭素の排出量削減ができ、環境保全に有効であると思います。2点目ですが経済効果です。空母は5,6千人が乗れるものでありその家族も含めると町の人口に匹敵します。また、横須賀で修理を行えば修理する人間の雇用等が生まれ、今後も大きな経済効果を継続的に横須賀にもたらすものであります。第3点目であります。国際感覚の育成です。横須賀市内の携帯ショップや商店等で店員とアメリカ人が英語で会話しているのを見かけます。生活する外国人が多ければ街の中で多くの市民が接する機会が増え国際感覚を磨く機会に恵まれます。第4点目ですけれども安全性です。アメリカは1961年から原子力空母を運用し現在も作り続けており大きな事故が発生したとは聞いておりません。したがってその安全性は確立しているものと思われま。しかし万が一事故が起こった場合速やかに市民に知らせ、場合によっては避難をできる体制をととのえるのは必要だと思います。

自分の町だけはやだという人がいますが大所高所からものは考えなければなりません。平和な国際社会の維持が必要であれば、自由主義の諸国の一員としてその恩恵を日本が負担を受けなければならないでしょう。そのためアメリカが日本に空母を排出、それが原子力になったとしても受け入れざるを得ない。そしてその横須賀の英断は後世から賞賛を受けるものと思います。

最後に個人情報の取り扱いについて苦言を呈したいと思います。6月6日の読売新聞朝刊によると、ある市民の会が国の機関の人が何通も応募するなど問題点があると報道されています。事実であれば応募はがきの内容が漏れたものであり遺憾であります。市民の会が入手したルートを明らかにし、多くの個人情報を扱われる市役所において今後このような漏洩を無くし市民が安心して暮らせる行政を行っていただきたい。以上です。

司会

ありがとうございました。予定されていた時間がまいりましたので皆様方からご意見を頂戴するのはこれで終了とさせていただきます。ご発言を頂けなかった皆様にはご意見書をいただければ、本日後ろのほうに箱がございます。また後日であれば基地対策課までいただきますようお願い申し上げます。

最後に蒲谷市長からご挨拶申し上げます。

蒲谷市長

今日は大変お忙しいところお集まりいただきまして本当にありがとうございました。いろいろなお立場からの真摯なご意見を頂きまして大変ありがとうございます。お立場の違いもあるし意見の相違はございますが、私としてはそれぞれのご意見を大変貴重なものとしてまとめさせていただきます。ありがとうございました。

司会

それではこれもちましてご意見を聞く会を終了させていただきます。
本日はどうもありがとうございました。